

農業による地域振興のために

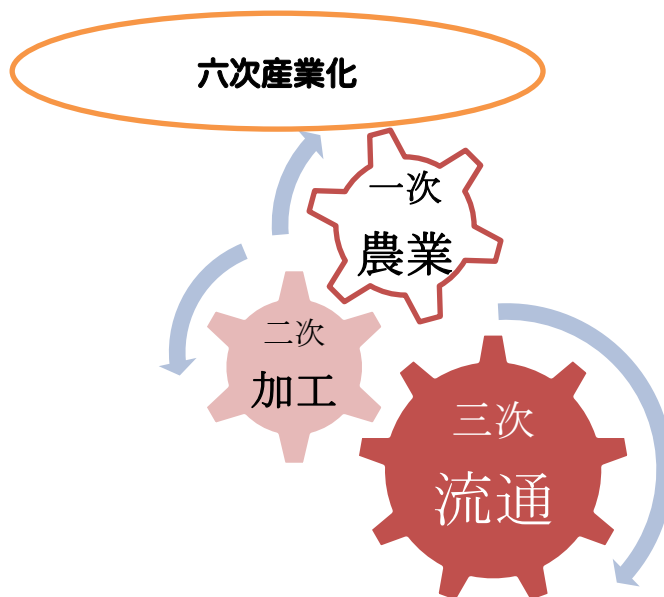
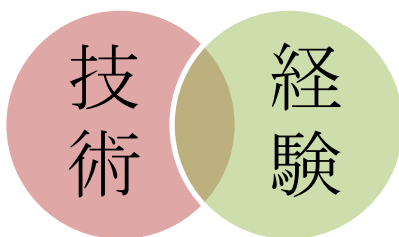
㈱東北バイオサイエンス研究所
東北大学名誉教授 山内 文男

🍀 六次産業の推進、グローバル化

現政府においては、本格的な農業改革に取り組んでおり、同時に地方創生、地域振興を計ろうとしております。農業改革は六次産業の推進、グローバル化による輸出推進を目指しております。

🍀 売り方を知らない農家のために

これまでの農業をみると、JAに販売を頼っており、それはそれなりに着実性がありましたが、消費者と接しないので、農家自身の創意工夫が生かされにくかった点があります。この点、行政や振興団体が、生産者と流通業や、消費者との交流を計ったりしているのは意義あるものと思います。



🍀 基礎を学ぶことは、可能性が広がること

これまで、農業は親から譲られた家業として技術が伝わってきましたが、科学、情報化時代になり技術革新も進みつつあります。技術革新といっても、それはあくまでも基礎技術の発展です。その基礎を学ぶことはより発展を進める上でより確かで、より可能性が広がることです。

六次産業が推奨される時代になって、一次の栽培から、2次の加工、そして3次の流通までの知識や技術を習得することは、大変な努力がいることでしょう。

🍀 地域振興のために

私は、宮城県黒川農学校の出身で、東北大学でも農業の化学領域である土壌肥料や、食品加工を学び、1次産業の農業はJAS有機農業の認定員、食品専門判定員です。2次産業は旧七帝大で唯一、東北大学で加工（食品保蔵）の講義を受け持っていました。さらに東北6県全域の工業及び農業試験場を賛助会員として、食品企業などの約180機関と提携し、20余年間会長として食品加工研究会を行ってきました。

以上の知識と経験から、地域の農業と加工の基礎知識の講座を開催し、地域振興に役立てばと思っています。

🍀 基礎知識と実習体験の場

企業の社員や、農業関連機関職員の研修などに役立てばと願っております。農業及び加工について全8回の講座で十分な時間ではないですが、講座を聞いた後に自習できるように基本的な技術、知識の要点は網羅して指摘するつもりであり、Ⅰ（農業）は簡単な肥料分析と、Ⅱ（食品加工）は顕微鏡による微生物の分類体験をいれてありますので、是非ご参加くだされば幸いです。



受講者の皆様へ

6次産業推進に、
より強い意欲を持って
いただければ幸いです。

《講師プロフィール》

【略歴】農学博士。東北大学名誉教授。

【業績】ネイチャーに2報掲載。論文・著書多数。

著書と総説（49報）・研究報告（162報）
有機農業と堆肥化（106報）・新聞報道（106報）
講演（56回）・特許申請（24報）

【専門】食品化学・バイオサイエンス（土づくりなど）

【社会活動】東北バイオインダストリー振興会議会長（東北通産局支援）・東北農林水産食品ハイテク研究会食品部会会長（東北農政局支援）など各種役職を歴任。現在、仙台生ごみリサイクルネットワーク会長を務め、平成18年に環境大臣賞を受賞。市公園10か所の落ち葉の堆肥化にも活躍中。東北バイオサイエンス研究所所長。地域振興のためにプラス会主催。

詳細はインターネット「山内文男」のキーワードでご検索ください。

http://yamauti.iinaa.net/zen_gyouseki20161207.pdf

東北バイオサイエンス研究所（山内文男研究室）

<http://yamauti.iinaa.net/>

Fe

NH₄-N

◇六次産業の基礎技術講座 カリキュラム◇

P₂O₅

技術とその基礎が学べる！

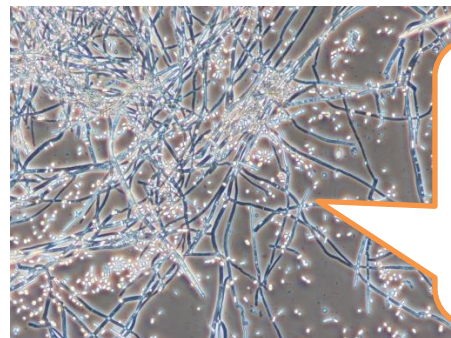
農業法人や関連行政などの職員教育によって、農業の科学的かつ技術的な知識により、より生産性を高めることができれば幸いです。

この講座の特色は、農業及び加工に、それぞれ実習を組み入れたことで、講座の内容がより具体的に理解できます。その実習器具の制約上、10名程度に限定されます。六次産業において、一次産業（農業）と二次産業（加工業）の基礎について易しくお話しします。しかし、時間の制約上、重要な点に絞らざるを得ません。土壌医検定2~3級の基礎を指摘します。

A. 内容	I. 農業の基礎 2/7(火) 1 土づくり 2/14(火) 2 堆肥・肥料； 2/21(火) 3 有機農業 2/28(火) 4 簡易土壌分析実習（お持ちいただいた畑または庭の土（約20g）を分析します） II. 食品加工の基礎知識 3/7(火) 1 水分；風乾（ふうかん）・熱風・減圧・凍結乾燥 3/14(火) 2 温度；冷凍冷蔵・殺菌滅菌 醸造 3/21(火) 3 保存料；塩漬 酸漬・アルコール・脱酸素剤 防腐剤 3/28(火) 4 微生物；カビ（糖化）・酵母（発酵）・細菌（乳酸菌） 顕微鏡によるカビ・酵母・細菌の識別実習
B. 場所	当研究所内
C. 日程	平成29年2月火曜日4回：13：30～15：30 I 農業の基礎 3月火曜日4回：13：30～15：30 II 食品加工の基礎
D. 受講料	I IIそれぞれ：3万円（全8回5万円）（試料代、実習費を含む） 10名以上の場合、抽選



Dr.ソイルの
土壌養分分析
器を使用して
実習します。



顕微鏡実習。
カビと細菌
などを1000
倍で観察し
ます。

お申込

受講希望者は、下記項目を記入のうえ、当用紙を宛先まで Fax またはメールにてお願いします。

氏名	
住所	
電話番号	
Fax 番号	
メールアドレス	
受講講座	I ・ II ・ 全日程 (いずれかに丸をつけて下さい)
主作物・主加工品	
農業(加工)歴	年

※個人情報プライバシーポリシーに準拠し、講座以外には使用しません。

【申込先】 FAX 022 (229) 5215 または メール fumio8@nifty.com

【申込期間】 H28年12月26日(月)～H29年1月21日(土) 必着
(抽選のうえ、受講該当者には1月27日～28日に通知いたします。)

【講習会場・お問合せ先】

株式会社東北バイオサイエンス研究所 <http://yamauti.iinaa.net/>

〒982-0801 仙台市太白区八木山本町1丁目5-1 ライオンズマンション210号

(2F バランダ入口よりお入りください)

電話 022 (229) 5214 代表 山内文男

